

「なつやすみ科学バスツアー」企画

子どもたちがJXTGエネルギー室蘭製造所を見学。採録を紙面で発信

北海道では“ものづくりの街”として知られる室蘭市。中でも代表的な顔の一つであるJXTGエネルギー室蘭製造所に、札幌から小学生の親子が訪れ、自由研究などにも役立ててもらおう「なつやすみ科学バスツアー」が2018年7月31日に実施となりました。今回で33回目となるこのツアーは、定員40組80人のところ、167組334人の応募があり、当日は小学4年生から6年生までの男女および保護者各1名ずつの39組78人が参加しました。

子どもたちは、JXTGエネルギー室蘭製造所スタッフによる実験や解説を通して、石油の役割、地球温暖化の現状などについて説明を聞き理解を深めたほか、水素で膨らませたシャボン玉を使った実験で燃料電池の仕組みも学びました。

参加した小学生へのアンケートでは、「理科が苦手だったけど、このバスツアーを通して科学の面白さを知れて、好きになった!」「このようなきかくをもっとふやしてほしい。つづけてほしい」といったコメントがあったほか、保護者からは「目で見える製造所は写真とは違い、大きさ、パイプやタンクの複雑さなど、とても圧倒されました」「母と娘の楽しい夏休みの思い出になりました」という声をいただきました。

8月18日朝刊全道版に掲載した「報告編」紙面では、ツアー当日の様子をダイジェストで紹介。現地で迎えてくれた「エネゴリくん」と一緒に撮った集合写真は、紙面掲載に加え、ポストカードにもして参加者にプレゼント。また、ツアーのためだけに編集した「記念新聞」も贈りました。

「報告編」の紙面を見た青山剛室蘭市長は、自らも「小学生の時にこのツアーに参加し、理系の道を志したきっかけになった」と振り返り、「紙面に掲載されている参加児童の感想コメントが、自分の小学生のころと同じだ」と感心されていました。

(本社営業局 森山 裕史)

企画制作/北海道新聞社営業局
 ■主催: 北海道新聞社 協賛: JXTGエネルギー株式会社 協賛: 室蘭市教育委員会

2018年7月31日(火) 室蘭市 室蘭製造所

巨大な製造所へ
ひとびとづくり!

製造所の
役割を学ぼう!

33回 なつやすみ
科学バスツアー

みんなで楽しく学んだ、石油と環境のこと

7月31日(火)に実施された「第33回なつやすみ科学バスツアー」。当日は39組78名の参加者が、室蘭市にある「JXTGエネルギー 室蘭製造所」を見学し、石油について学びました。

石油にまつわる
実験に参加しよう!

参加者からのメッセージ!

ENERGY for ALL とどけ! 熱いエネルギー
ENEOSは、東京2020オリンピック・パラリンピックを応援しています。

JXTGエネルギー(室蘭製造所)
 製造所は、天然ガス(1日約1億立方メートル)を原料として、石油製品を生産しています。

(2018年8月18日 朝刊 全道版 全15段)

POINT!

* 北海道新聞社主催でのイベントの実施や、採録の紙面での発信が可能です。ぜひご相談ください。

◆お問い合わせ/北海道新聞社営業局 (TEL011-210-5713) または 各支社営業部へ (2018.10)

* ウェブサイトにバックナンバー掲載中! 【道新 営業局】で検索! (<https://adv.hokkaido-np.co.jp/>)